

東北地方・太平洋地震 沖縄民医連 支援ニュース

第2号 2011年3月17日(木) 電話:098-833-3397

支援物資を段ボール箱50個もって、14日出発した第1陣6人は、福島経路を避けて新潟経由で宮城県・坂総合病院へ1日半かけて到着。さっそく全国支援者らとひとしよに支援活動に入っています。現地は、想像を絶する状況で、“戦場”のようで、患者が途絶えない状況だといえます。

第1陣支援団からの第一報を紹介します。

第1陣支援隊から 第一報

<昨日(16日)の坂病院の状況>

- ・外来患者数は530人、38人があらたに入院した
- ・救急車31台、多くなっている
- ・重症患者は19人(最初の時期の半分くらいに減ってはいる)
- ・内科疾患患者が増えてきている
- ・病院の357床を392床に増やして対応している
- ・周辺の大規模病院などが機能してない状況、開業医はほとんど動けない状況
- ・病院の液体酸素はあと3週間分確保できたが、重油は底をつきそう
- ・東京で手に入れて持っていったガソリンはとても喜ばれた
- ・全国からの支援者307人、うち医師39人、看護師49人、あと事務など

<沖縄の6人の昨日の支援>

- ・原国先生と清水先生は、避難所回り
- ・看護師の与儀さんは、重症患者コーナーの深夜
- ・看護師の久保田さんは、中程度患者コーナーの深夜
- ・事務の新垣さん、照屋さんは、軽度患者コーナーの受付

<緊急に必要な支援物資>

- ・大人、子どもの紙おむつ
- ・粉ミルク
- ・トイレットペーパー

第2陣支援隊6人が明日(18日)出発します

18日(金)～24日(木)まで。以下の職員(敬称略)が頑張ってきます。激励してください。

仲宗根卓(医師:沖協)、運天いずみ(看護師:沖協)、平良雄一郎(事務:沖協)

赤嶺琢哉(事務:沖協)、比嘉佳幸(看護師:中協)、嘉数浩明(管理栄養士:中協)